



2027年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月13日

上場会社名 株式会社インターアクション 上場取引所 東
 コード番号 7725 URL <https://www.inter-action.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木地 伸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室経営企画チーム (氏名) 北澤 知大 TEL 045-263-9220
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年5月期第1四半期の連結業績（2026年6月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年5月期第1四半期	816	△22.1	△142	—	△125	—	△81	—
2026年5月期第1四半期	1,048	△55.5	99	△87.7	136	△82.5	47	△91.1

（注）包括利益 2027年5月期第1四半期 △73百万円（—％） 2026年5月期第1四半期 77百万円（△84.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	△8.08	—
2026年5月期第1四半期	4.44	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年5月期第1四半期	11,668	10,367	88.8
2026年5月期	12,061	10,792	89.5

（参考）自己資本 2027年5月期第1四半期 10,367百万円 2026年5月期 10,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	10.00	—	34.00	44.00
2027年5月期	—	—	—	—	—
2027年5月期（予想）	—	10.00	—	45.00	55.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2027年5月期（予想）期末配当金45円00銭には、特別配当金10円00銭が含まれております。

3. 2027年5月期の連結業績予想（2026年6月1日～2027年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,212	49.6	1,599	127.7	1,620	94.0	1,049	97.8	103.41

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式を含む自己株式数を控除した期中平均株式数により「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年5月期1Q	11,510,200株	2026年5月期	11,510,200株
② 期末自己株式数	2027年5月期1Q	1,364,807株	2026年5月期	1,364,807株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年5月期1Q	10,145,393株	2026年5月期1Q	10,651,907株

(注) 当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(追加情報)	9
(収益認識関係)	10
3. 2027年5月期第1四半期決算短信（連結）補足説明	11
(1) 受注実績の状況	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績について、売上高及び営業利益は前年同期と比較して減少いたしました。これは、主にIoT関連事業において製品の販売が低調に推移したためであります。

なお、当連結会計年度では、売上高及び営業利益が第2四半期から第4四半期にかけて段階的に拡大していくと予測しており、当第1四半期においては概ね予算どおりの進捗となっております。

これらの事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は816百万円（前年同期の売上高1,048百万円に比し、22.1%の減少）、売上高の減少等により売上総利益は305百万円（前年同期の売上総利益524百万円に比し、41.9%の減少）となりました。また、営業損失は142百万円（前年同期の営業利益は99百万円）、経常損失は125百万円（前年同期の経常利益は136百万円）、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純損失は81百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益は47百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(IoT関連事業)

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は315百万円（前年同期の売上高622百万円に比し、49.4%の減少）、セグメント利益は51百万円（前年同期のセグメント利益249百万円に比し、79.3%の減少）となりました。これは、検査用光源装置及び瞳モジュールの販売が低調に推移したためであります。

なお、当第1四半期は前期に受注した大口案件に向けた準備期間として想定していたことから、業績は概ね予算どおりの進捗となっております。また、受注残高は前年同期を大幅に上回る水準で推移しており、第2四半期以降、順次売上計上が進むとともに、追加受注も見込んでおります。

(インダストリー4.0推進事業)

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は498百万円（前年同期の売上高421百万円に比し、18.1%の増加）となりました。これは、精密除振装置分野及び歯車試験機分野において製品の販売が好調に推移したためであります。一方、セグメント損失は5百万円（前年同期のセグメント利益は56百万円）となりました。これは、主に新製品開発に伴う研究開発費や人件費等の増加により、販売費及び一般管理費が増加したためであります。

(その他)

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は3百万円（前年同期の売上高4百万円に比し、20.4%の減少）、セグメント利益は2百万円（前年同期のセグメント利益3百万円に比し、21.7%の減少）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ392百万円減少し、11,668百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ452百万円減少し、10,070百万円となりました。これは、商品及び製品が81百万円、仕掛品が170百万円増加したものの、現金及び預金が782百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、1,598百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、1,301百万円となりました。これは、未払法人税等が76百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が98百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ424百万円減少し、10,367百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失81百万円を計上したこと、前事業年度の期末配当金351百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2026年7月13日公表時より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,529,377	7,747,287
受取手形及び売掛金	343,347	291,105
電子記録債権	37,854	25,840
営業投資有価証券	52,805	54,502
商品及び製品	117,913	199,790
仕掛品	621,679	792,315
原材料及び貯蔵品	566,564	627,668
その他	254,211	332,481
貸倒引当金	△689	△697
流動資産合計	10,523,063	10,070,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	271,778	269,170
土地	165,149	165,149
その他（純額）	354,952	355,862
有形固定資産合計	791,880	790,182
無形固定資産		
のれん	29,025	22,510
その他	127,167	143,544
無形固定資産合計	156,192	166,054
投資その他の資産		
投資有価証券	130,464	130,481
その他	471,112	522,746
貸倒引当金	△11,460	△11,350
投資その他の資産合計	590,116	641,877
固定資産合計	1,538,189	1,598,113
資産合計	12,061,253	11,668,409

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	151,329	249,335
短期借入金	390,000	390,000
1年内返済予定の長期借入金	57,648	57,648
未払法人税等	96,608	19,892
賞与引当金	—	39,865
製品保証引当金	14,582	12,944
役員株式給付引当金	92,800	117,586
その他	274,346	235,806
流動負債合計	1,077,314	1,123,079
固定負債		
長期借入金	107,208	91,596
株式給付引当金	34,067	36,660
退職給付に係る負債	47,861	48,095
その他	2,767	1,700
固定負債合計	191,904	178,052
負債合計	1,269,219	1,301,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760,299	1,760,299
資本剰余金	3,352,578	3,352,578
利益剰余金	7,514,910	7,081,559
自己株式	△1,902,341	△1,902,341
株主資本合計	10,725,447	10,292,095
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	66,586	75,182
その他の包括利益累計額合計	66,586	75,182
純資産合計	10,792,034	10,367,278
負債純資産合計	12,061,253	11,668,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
売上高	1,048,629	816,817
売上原価	523,887	511,812
売上総利益	524,741	305,005
販売費及び一般管理費	424,785	447,068
営業利益又は営業損失(△)	99,956	△142,063
営業外収益		
受取利息	17,918	14,258
受取配当金	120	120
貸与資産賃貸料	3,340	—
為替差益	20,154	3,415
その他	3,068	2,305
営業外収益合計	44,601	20,100
営業外費用		
支払利息	2,184	2,039
貸与資産諸費用	1,389	—
支払手数料	1,260	1,260
自己株式取得費用	1,999	—
その他	1,483	727
営業外費用合計	8,317	4,026
経常利益又は経常損失(△)	136,239	△125,990
特別損失		
固定資産売却損	908	—
固定資産除却損	0	1,933
子会社株式売却損	79,734	—
特別損失合計	80,643	1,933
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	55,596	△127,923
法人税、住民税及び事業税	16,806	10,478
法人税等調整額	△8,505	△56,457
法人税等合計	8,300	△45,979
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,296	△81,943
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	47,296	△81,943

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,296	△81,943
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	30,020	8,595
その他の包括利益合計	30,020	8,595
四半期包括利益	77,316	△73,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,316	△73,348
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	IoT関連事業	インダストリー 4.0推進事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	622,914	421,700	1,044,614	4,014	1,048,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	622,914	421,700	1,044,614	4,014	1,048,629
セグメント利益	249,406	56,953	306,360	3,772	310,132

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「環境エネルギー事業」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	306,360
「その他」の区分の利益	3,772
全社費用(注)	△194,291
棚卸資産の調整額	△15,884
四半期連結損益計算書の営業利益	99,956

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年6月1日 至 2026年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	IoT関連事業	インダストリー 4.0推進事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	315,505	498,115	813,620	3,197	816,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	315,505	498,115	813,620	3,197	816,817
セグメント利益又は損失（△）	51,524	△5,763	45,761	2,954	48,716

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「環境エネルギー事業」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	45,761
「その他」の区分の利益	2,954
全社費用（注）	△171,132
棚卸資産の調整額	△19,647
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△142,063

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	42,387千円	57,581千円
のれん償却額	6,958	6,515

(追加情報)

(従業員に信託を通じて自社の株式を交付する株式給付信託制度)

1. 取引の概要

当社は、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式等を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-E S O P）」（以下、「本制度」という）を導入しております。

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式等を給付する仕組みであります。当社は、従業員に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権の取得をしたときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付いたします。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式は、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に「自己株式」として計上しております。前連結会計年度末及び当第1四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、102,599千円及び90,200株であります。

(取締役的信託を通じて自社の株式を交付する業績連動型株式報酬制度)

1. 取引の概要

当社取締役の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することにより、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めながら、議決権の行使や配当の権利等の株主の皆様と同様の権利を有することで、より株主の皆様に近い目線での価値共有を目的として「株式給付信託（BBT-RS（=Board Benefit Trust-Restricted Stock））」（以下、「本制度」という）を導入しております。

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」という）が当社株式を取得し、当社が定める役員株式給付規程に従って、その役位及び業績達成度に応じて付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役へ給付される株式報酬制度であります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式は、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に「自己株式」として計上しております。前連結会計年度末及び当第1四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、184,629千円及び99,928株であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計
	IoT関連事業	インダストリー 4.0推進事業	計		
一時点で移転される財	622,914	421,700	1,044,614	—	1,044,614
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	622,914	421,700	1,044,614	—	1,044,614
その他の収益 (注) 1	—	—	—	4,014	4,014
外部顧客への売上高	622,914	421,700	1,044,614	4,014	1,048,629

(注) 1. その他の収益は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)で認識される収益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「環境エネルギー事業」であります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計
	IoT関連事業	インダストリー 4.0推進事業	計		
一時点で移転される財	315,451	498,115	813,566	—	813,566
一定の期間にわたり移転される財	54	—	54	—	54
顧客との契約から生じる収益	315,505	498,115	813,620	—	813,620
その他の収益 (注) 1	—	—	—	3,197	3,197
外部顧客への売上高	315,505	498,115	813,620	3,197	816,817

(注) 1. その他の収益は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)で認識される収益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「環境エネルギー事業」であります。

3. 2027年5月期第1四半期決算短信（連結）補足説明

(1) 受注実績の状況

当第1四半期連結累計期間における受注高及び受注残高は、IoT関連事業及びインダストリー4.0推進事業のいずれにおいても、前年同期比で大幅に増加いたしました。

IOT関連事業においては、主に海外顧客向け検査用光源装置の需要が好調に推移したため、受注高は前年同期比で増加いたしました。また、受注残高については、前連結会計年度に受注した海外主要顧客向け大口案件を含む受注の積み上がりに加え、同顧客における設備投資需要が継続していることから、前年同期比で大幅に増加しております。

今後の顧客の設備投資動向について、国内主要顧客においては、設備投資需要が落ち着いた状況が継続する一方、海外主要顧客においては、新規顧客開拓の進展や、それに伴うスマートフォン市場の競争環境の変化等を背景に、旺盛な設備投資需要が継続すると推測しております。

インダストリー4.0推進事業においては、精密除振装置及び歯車試験機の需要が好調に推移したことから、受注高及び受注残高は前年同期比で増加いたしました。

受注実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)		増減	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
IOT関連事業	320,558	694,701	521,858	3,061,882	201,299	2,367,180
インダストリー4.0推進事業	253,696	335,630	400,021	534,954	146,324	199,324
合計	574,255	1,030,332	921,879	3,596,837	347,624	2,566,505

(注) 上記金額は、受注生産を行っている事業について記載しております。